

希少植物等保全対策検討委員会（第3回）

日 時：令和5年11月28日（火）
13時～15時

場 所：津野町役場西庁舎
（高岡郡津野町力石 2870 番地）

次 第

- 1 開会
- 2 議事
 - （1）植生回復調査等について
 - （2）探勝路利用上の安全対策等について
 - （3）四国カルスト県立自然公園施設についてのアンケート項目（案）について
- 3 その他
- 4 閉会

資料1	希少植物等保全対策に向けた植生回復調査について
資料2	希少植物等保全対策モニタリング調査について
資料3	四国カルスト県立自然公園の保全に関する取り組み（イメージ）
資料4	四国カルスト県立自然公園自然探勝路のサイン計画（案）
資料5	探勝路利用上の安全対策について（停止線等の設置）
資料6	四国カルスト県立自然公園についてのアンケート項目（案）
参考資料	希少植物等保全対策検討委員会（第2回）議事概要

希少植物等保全対策に向けた植生回復調査について

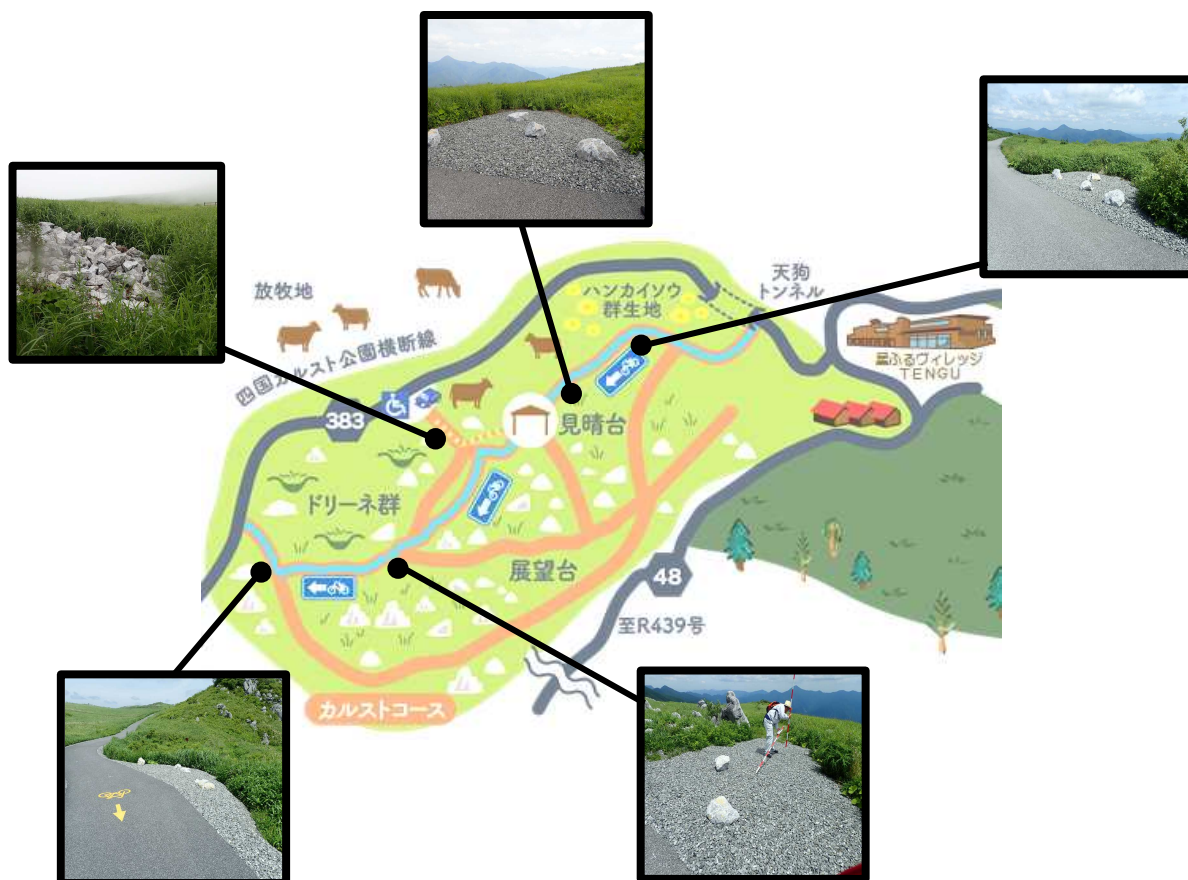
1 概 要

- (1) 調査内容 公園の元の土壌に戻す余地のある余幅部分等の一部において、元の土壌の上に敷かれている碎石を取り除くことで、公園の植生の回復状況の調査を実施する。
- (2) 調査エリア 自然探勝路の路側・碎石部分を剥いだ5箇所
- (3) 実施回数 月1～2回（10回程度）
- (4) 調査内容 発生した植物の種類と被覆度を記録する。また、外来種を確認した場合は、種類名等を記録し除去する。

2 スケジュール（予定）

- (1) 令和5年12月以降
碎石撤去 ※12月から3月までの県道冬季閉鎖期間に実施
- (2) 令和6年4月から
植生回復調査 ※植物が芽吹く期間での調査実施

3 調査実施場所



希少植物等保全対策モニタリング調査について

I 調査方法等

【目的】

四国カルスト県立自然公園において、再整備工事を実施した自然探勝路脇等に、これまで草原で確認されていない植物が生育していないかを確認するため、監視調査を行う。

【調査方法等】

1 範囲

自然探勝路（延長 1.4km・バリアフリー道含む）から目視で確認できる範囲

2 期間

令和 5 年 8 月～11 月

3 実施回数

月 2 回（上旬（10 日頃）及び下旬（25 日頃）） 10 回程度

4 方法

- （1）高知県牧野記念財団が作成した「天狗高原周辺で採集された植物リスト」、「津野町末採集リスト（種子植物、シダ植物）」等を元に、現地調査を行う。
- （2）これまで草原内で確認されていない植物又は生態系に重大な影響を及ぼす恐れのある特定外来植物等を発見した場合には、位置情報を確認出来るデジタルカメラを用いて撮影する。
- （3）併せて、その植物を適正に採取（除去）する。
※不明な個体を見つけた場合は、自然共生課に報告するとともに、緯度経度・日時等を記録の上、個体を新聞紙に挟んで牧野記念財団に送付し、確認を受ける。

II 調査報告内容

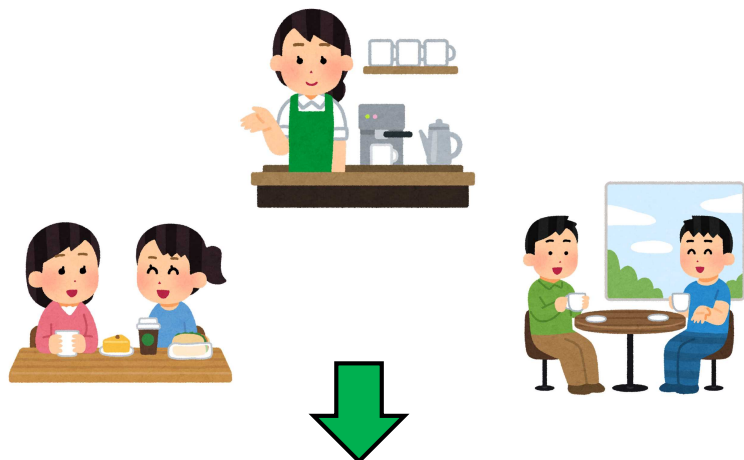
回数	調査日		調査結果
1	8 月	17 日（木）	・これまで草原内で確認されていない植物：なし ・生態系に重大な影響を及ぼす恐れのある特定外来植物：なし
2		31 日（木）	
3	9 月	8 日（金）	
4		27 日（水）	
5	10 月	12 日（木）	
6		25 日（水）	
7	11 月	14 日（火）	
8			

※令和 6 年度は 4 月から再開予定。

四国カルスト県立自然公園の保全に関する取り組み（イメージ）

○例えば、カルストテラスでの売上げの一部を四国カルスト県立自然公園の保全の取組へ。

■ カルストテラスでカフェ等を利用



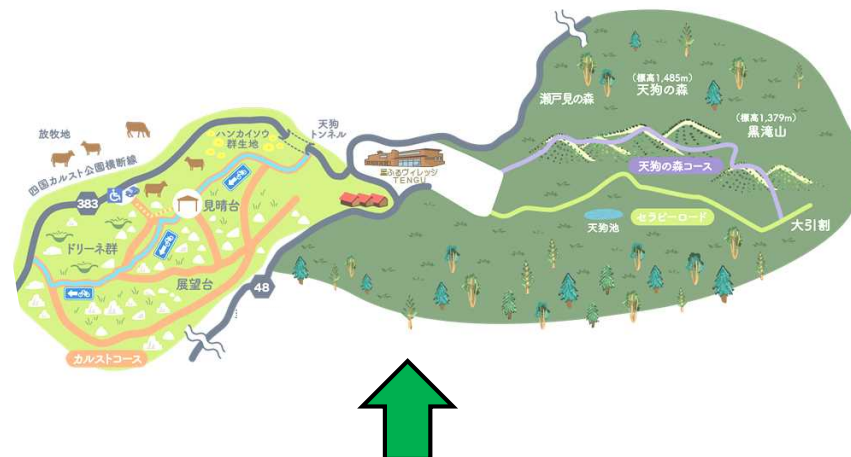
■ カルストテラス収益の一部を四国カルストの保全に活用

<活用例>

天狗の日（10/9）に開催する学習会等を利用する。



■ 四国カルストの保全



■ 四国カルストの保全に対する意識の高まり



学習会等に参加することで、
四国カルスト県立自然公園の
保全に対する意識が高まる

四国カルスト県立自然公園自然探勝路のサイン計画（案）

1 方針

四国カルスト公園に設置する自然探勝路のサイン類については、施設の利用が促進されるよう、以下のことに配慮する。

- （１）情報を伝達するよう整備する。
- （２）設置場所の自然環境や景観が損なわれることのないように配慮する。
- （３）原則として、多言語対応を含むユニバーサルデザインに配慮する。

2 指針

（１）情報を伝達するための基本事項

利用の形態、利用者の行動等を考慮した上で、設置場所を計画する。

- ア 周辺の景観との調和に配慮するとともに、画一的に探勝路に並行に設置するのではなく利用者が見やすい位置に設置する。
- イ 風景地であることを考慮し、注意喚起等の設置位置については、利用者の安全上、必要不可欠な箇所に限るなど、十分に検討する。

（２）設置場所の自然環境や景観に配慮するための基本事項

自然景観との調和、耐久性、耐候性、加工性等を考慮して決める。

- ア 設置位置の景観や視線方向等を考慮して、過大な規模とならないようにする。
- イ 自然景観と調和する単純かつ相互に統一感のある形態とするとともに、既に設置されているものとのデザインの統一性にも配慮する。
- ウ 構造体の色彩は、こげ茶色を基調として統一し、派手な色彩や複雑な配置は使用しない。
- エ 文字が主体である表示板の色彩は、こげ茶色の下地に白色文字または淡黄色文字を基調とする。
- オ サイン類の構造体（本体）の主材料は、基本的に木材とする。
- カ 表示板・印刷板の主要材料は、紫外線などに対する耐久性を考慮して決める。

（３）多言語対応を含むユニバーサルデザインに配慮するための基本事項

表示事項は、誰もがわかりやすいものとする。

- ア 外国人利用に対応した多言語表記とする。
使用する言語としては、日本語と英語を表記することを基本とする。
- イ バリアフリーに対応した表記（ピクトグラムの利用）とする。
日本国内で使用されているピクトグラム「JIS Z 8210 案内用図記号」「標準案内用図記号ガイドライン」及び「自然公園の公共施設で使用するピクトグラム（環境省）」、ピクトグラムの意味を日本語と英語で必ず表記することを原則とする。
- ウ 多様な利用者の特性に配慮した利用しやすい配置と構造とする。

探勝路利用上の安全対策について（停止線等の設置）

資料5



四国カルスト県立自然公園についてのアンケート項目（案）

資料 6

目的：四国カルスト県立自然公園の自然探勝路の利用者等の声を聴取し、希少植物等保全対策検討委員会の議論に生かす。

- 当委員会でのこれまでの議論などを踏まえ、利用者から聴取する項目を整理し、集計・分析できる形でアンケートを設計、当委員会で新アンケートを実施。
（聴取項目）
 - ・ 自然探勝路の利用状況や今後の利活用に向けての項目
 - ・ 希少植物等の保全に向けての項目
- 新アンケートについては、次のようなスケジュールで実施することを想定。
 - ・ 第3回検討委員会（今回）にて、アンケート項目を議論
 - ・ 第3回検討委員会での意見等を踏まえ、各項目の選択肢等を事務局にて検討（中澤委員にご助言をいただきながら）
 - ・ 第4回検討委員会（年度内予定）で、アンケート（案）を議論、確定し、アンケートを開始

現在実施中のアンケート		希少植物等保全対策検討委員会による新アンケート項目（案）		考え方など
		【趣旨】 四国カルストの自然探勝路の利活用や希少植物等の保全に向けた今後の取組に活かすため。 【秘密保持】 アンケートに記載していただいた内容は、本アンケート調査の目的以外で使用することはありません。 【お問合せ先】 希少植物等保全対策検討委員会 事務局 (TEL) 088-821-4842 (FAX) 088-821-4530		アンケートの趣旨や実施主体等を明らかにするため。 ・ 利用者にアンケート趣旨を理解いただく。 ・ 安心してアンケートに回答していただく。
1	お客様の性別、年齢を教えてください。	1	お客様の性別、年齢を教えてください。	フェイスシート項目 ・ 個人に関する属性を質問する項目 ・ 聴取する項目を詳細に集計、分析するため
2	どちらから来ましたか。	2	どちらから来ましたか。	
3	四国カルストに来たのは何回目ですか。	3	四国カルストに来たのは何回目ですか。	
4	今回、四国カルストに来られた目的を教えてください。	4	今回、四国カルストに来られた目的を教えてください。	
5	この施設「カルストテラス」に立ち寄った目的を教えてください。	5	この施設「カルストテラス」に立ち寄った目的を教えてください。	
		6	日頃から、環境保全活動に取り組んでいますか。	追加 （環境活動への関心や実践に関する項目による属性分析を行うため。）

現在実施中のアンケート		希少植物等保全対策検討委員会による新アンケート項目(案)	考え方など	
6	四国カルストの景観についてどのように思いますか。	7 四国カルストの景観についてどのように思いますか。	変更なし	
7	四国カルストを散策するために新しくできた遊歩道についてどのように思いますか。	8 (1) <u>カルスト草原内の自然探勝路を歩きましたか。</u> (2) <u>歩いた方にお聞きます。</u> ○ <u>どの道を歩きましたか。</u> ①自転車・歩行者道 ②バリアフリー道、 ③両方 ○ <u>道幅はどうでしたか。</u> ①広い ②狭い ③ちょうどよい ○ <u>自然探勝路を歩いた目的は何ですか。</u> ○ <u>どのように感じましたか。</u>	追加	検討委員会での議論などによる追加項目 ・自然探勝路(遊歩道・バリアフリー道)の利用状況について、利用者意見を聴取。 ・自然探勝路(遊歩道・バリアフリー道)の今後の利活用に向けた議論に生かすため、利用者意見を聴取。
8	自然環境に配慮しながら、多くの方々に自然を楽しんでいただくための環境づくりを行うことについて、どのように思いますか。		削除	検討委員会の議論に生かすための項目に絞るため。
9	四国カルストでは、定期的に行われる山焼きによって草原の景観が保たれ、明るい環境を好む植物や動物が暮らすことができます。山焼きについて知っていましたか。		削除	下の項目(現在実施中アンケートの10番目の項目)に山焼きに関する選択肢が含まれているため、
10	四国カルストでは、希少な草原生の植物のほか昆虫や鳥類など、1年を通じて動植物や景観を楽しむことができます。この自然環境を守っていくためにどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)	9 四国カルストでは、希少な草原生の植物のほか昆虫や鳥類など、1年を通じて動植物や景観を楽しむことができます。この自然環境を守っていくために主にどのような取り組みが必要だと思いますか。(1つ)	一部変更	希少植物等の保全の取組に関し、利用者意見を聴取 ※集計、分析を行うため、回答数を変更(複数回答→主な1つ)
11	四国カルストで、今後、力を入れて取組んでいてもらいたいことは何ですか。(複数回答可)		削除	検討委員会の議論に生かすための項目に絞るため。